

受賞者氏名	五島 洋行	
所属	理工学部経営システム工学科	
受賞年月日	2024 年 9 月 12 日, 2025 年 2 月 20 日	
国内・国外	国内 および 国外両方	
授与機関等名称	IEOM Society International	
受賞名	(1) Distinguished Leadership Award, (2) IEOM 2025 Fellows, (3) Undergraduate Student Paper Competition	
受賞(研究)内容詳細	IEOM (Industrial Engineering and Operations Management) Society International は、米国・ミシガン州に本部を置く国際学術団体で、IE および OM 分野における研究・教育・実務の発展を目指して、特に新興国を含むグローバルな人的ネットワークの構築を重視しています。 経営工学や数理工学を扱う国際学術団体は他にもありますが、これらの多くの団体は研究推進に特化し、参加者の国や地域も限定的・固定的であるのに比べ、IEOM は「全大陸から満遍なく」をモットーとし、学生や若手研究者への褒賞も積極的に行い、次世代を担う人材を発掘し、産業界・学術界の橋渡しだけでなく、世代も国も問わない人的ネットワークの積極的な構築を目指しており、伝統的な研究志向の学術団体とは異なる雰囲気を感じる団体です。 同学会はこれまで、日本をはじめとして東アジアでの開催実績も参加者も少なかったため、五島にとってはそれが逆に「しがらみ」なく発表や意見交換をできる場として居心地がよく、特に学生の研究発表の場として重宝していました。 受賞(1)は主に、2024 年 9 月 10 日～12 日まで、日本で初めて開催された Asia Pacific IEOM 国際会議の Conference Chair として、多方面での準備や運営に従事し、それらの貢献について表彰されたものです。 受賞(2)は、研究室の学生や五島がこれまでに累積 10 件超の研究発表を行い、一部については表彰も受けていましたが、教育・研究上の貢献、および上記国際会議の主催による組織運営上の貢献など、IEOM の運営・発展、関連分野の研究進展などに関する貢献が認められ、Fellow の称号が授与されたものです。日本人の受賞は二人目で、大学関係者は初です。授賞式は 2025 年 2 月 20 日にシンガポールで行われました。 受賞(3)は五島が指導教員を務める理工学研究科・システム理工学専攻(経営システム系)の修士1年(当時)、山崎 裕翔さんが、上記国際会議において“Optimal Layout Planning for School Consolidation ~Elementary Schools in Machida City, Tokyo~”という研究論文を執筆・発表を行い、Undergraduate Student Paper Competition Award を受賞したものです。 経営数理工学研究室では、計算機や数理科学を駆使し、企業経営や社会システムの問題発見・改善や効率化、自然災害の減災など市民の暮らしの質向上などへの貢献を目指した研究を行っており、大学院生を中心に国際会議で積極的に研究成果を発表しています。	